事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	2
53133	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	3
53133	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	4
53133	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	5
53133	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	6
53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	シートA	7

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	岡田 真規子	担当者名	主査	安倍 健太郎	技師	上田 純	
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		施設整備担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	二宮 仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	岡田 真規子	担当者名	主査	安倍 健太郎	技師	上田 純	

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	22321	公衆便所維持管理事業		事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	2:委託
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる				重点プロジェクト	-	
施策	良好な衛生環境の維持				主な取り組み	-	
主な取り組み	生活衛生の向上		市長公約		-		
取り組みの柱	生活衛生施設の衛生水準の維持・向上				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事業の目的（どのような状態にするか）	当課が管理する市内14箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。						
背景（どのような経緯で開始したか）	地元要望等によって設置。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪対象≫ ・市内14箇所の公衆便所 ≪事業内容≫ ・清掃業者等に委託料を支出し、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施する。また、破損や故障時には緊急修繕工事を実施する。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期（年度）	平成 2 ～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位:千円）		8,297	9,341	8,220
決算額（B）（単位:千円）		7,657	7,621	
内訳 （単位:千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	14	20	0
	一般財源	7,643	7,601	8,220
主な経費（単位:千円） ※R2→決算,R3→予算			委託料4,668 需用費1,487 工事請負費753	委託料4,709 需用費2,056 工事請負費760
特記事項（単位:千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位:千円）	(A)-(B)	640	1,720	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施。					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、公衆便所を衛生的かつ健全に保つことができ、市民の利便性を確保できている。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・各施設ともに経年劣化が進んでいるため、機器ごとに状態を把握し、計画的に補修・修繕等を行う必要がある。					
R3年度の目標	・衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上に努める。	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・機器ごとの経年劣化の状態やその進み具合などの特徴を把握し、点検や取替による保守管理を行う。	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	主任	尾家 慶行	担当者名	主任	高橋 貢	技師	宮本 佑司
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	二宮 仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	主任	尾家 慶行	担当者名	主任	高橋 貢	技師	宮本 佑司

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	53133	南クリーンセンター運営管理事業			事業性質	1-4:自治事務（義務規定あり）	事業区分 2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約		-		
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的（どのような状態にするか）	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。						
背景（どのような経緯で開始したか）	南クリーンセンターの供用開始による。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪対象≫ ・南クリーンセンターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「荏原環境プラント株式会社西日本支店」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力を売却する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用した蒸気の一部を、隣接する「アクアパレット」のプールの水温管理等に利用する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期（年度）	平成	6 ～ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		1,119,696	1,100,052	1,146,637
決算額（B）（単位：千円）		1,052,094	1,061,727	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	167,614	156,290	494,312
	一般財源	884,480	905,437	652,325
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			委託料675,478 工事請負費248,477 需用費134,210	委託料719,678 工事請負費268,860 需用費154,214
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	67,602	38,325	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・令和2年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・建物や設備機器等の経年劣化への対応					
R3年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・経年劣化した建物や設備機器等の更新工事の実施。	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	948-6901				
	部等長名	宇野　哲朗	課等長名	柳本　貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	渡邉　真二	担当者名					
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153				
	部等長名	藤本　則彦	課等長名	二宮　仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	渡邉　真二	担当者名					

1. 事業概要 【Plan】　※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	53133	西クリーンセンター運営管理事業			事業性質	1-4:自治事務（義務規定あり）	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進				主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約		-			
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理				-			
総合戦略		基本目標 -	取組み	-				
		政策 -						
		施策 -						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画							
事業の目的（どのような状態にするか）	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。							
背景（どのような経緯で開始したか）	西クリーンセンターの供用開始による。							
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪対象≫ ・西クリーンセンターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理及び維持管理は、「松山環境テクノロジー株式会社」に委託（DBO方式）。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ（可燃性）」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。							
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条				
始期・終期（年度）	平成	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		893,676	900,940	900,909
決算額（B）（単位：千円）		878,167	882,839	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	563,383	548,336	235,635
	一般財源	314,784	334,503	665,274
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			委託料882,075 需用費259 職員手当254	委託料900,020 需用費378 職員手当296
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	15,509	18,101	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし					
R3年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		横谷埋立センター・横谷廃棄物センター維持管理担当	連絡先	977-5235			
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	田中 長彦		
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		横谷埋立センター・横谷廃棄物センター維持管理担当	連絡先	977-5235			
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	二宮 仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	矢野 功二	担当者名	主任	田中 長彦		

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	53133	横谷埋立センター運営管理事業			事業性質	1-4:自治事務（義務規定あり）	事業区分 2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約		-		
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理				-		
総合戦略		基本目標 -	取組み	-			
		政策 -					
		施策 -					
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的（どのような状態にするか）	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。						
背景（どのような経緯で開始したか）	横谷埋立センターの供用開始による。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪対象≫ ・横谷埋立センター及び横谷廃棄物センターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「水ingAM株式会社四国営業所」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。 ・浸出水に含まれる塩類を消毒剤(エコ次亜)としてリサイクル。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期（年度）	平成 15 ～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		536,943	539,760	525,785
決算額（B）（単位：千円）		478,438	488,193	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	4,808	2,958	685
	一般財源	473,630	485,235	525,100
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			委託料289,245 需用費126,344 工事請負費68,880	委託料323,106 需用費145,240 工事請負費53,075
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	58,505	51,567	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・令和2年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入された埋立ごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし					
R3年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・特になし	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	副主幹	石丸 昭彦	担当者名	主任	西村 英治			
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	二宮 仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	主査	宮浦 博義	担当者名	主任	西村 英治			

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	53133	大西谷埋立センター運営管理事業		事業性質	1-4:自治事務（義務規定あり）	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム		個別プログラム	-	
政策	豊かな自然と共生する				重点プロジェクト	-	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進				主な取り組み	-	
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約		-		
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理				-		
総合戦略		基本目標 - / 政策 - / 施策 -	取組み	-			
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画						
事業の目的（どのような状態にするか）	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センターの運営管理及び維持管理を行う。						
背景（どのような経緯で開始したか）	平成17年の合併により北条市から移管したことによる。						
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪対象≫ 大西谷埋立センターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「株式会社日本管財環境サービス」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターで発生する焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条			
始期・終期（年度）	平成 5 ～ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位：千円）		74,118	63,382	69,925
決算額（B）（単位：千円）		67,408	59,919	
内訳 （単位：千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	272	282	50
	一般財源	67,136	59,637	69,875
主な経費（単位：千円） ※R2→決算,R3→予算			工事請負費26,272 委託料26,936 需用費5,882	工事請負費33,036 委託料28,597 需用費7,025
特記事項（単位：千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位：千円）	(A)-(B)	6,710	3,463	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持 ・令和2年7月豪雨による災害廃棄物の受入れと適正処理					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び、適正な施設の運営、維持ができているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・施設の経年劣化への対応					
R3年度の目標	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持管理 ・経年劣化した水処理設備機器の点検・更新	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・水処理設備機器の老朽化に伴う更新工事の実施	

令和3年度 松山市 事務事業シート ＜シートA＞

評価実施年度	令和3年度	評価対象年度	令和2年度

令和3年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911				
	部等長名	宇野 哲朗	課等長名	柳本 貴志	ﾘｰﾀﾞｰ名	主査	渡部 驚	担当者名	主任	井上 慶			
令和2年度	部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当グループ名		中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911				
	部等長名	藤本 則彦	課等長名	二宮 仁志	ﾘｰﾀﾞｰ名	主査	渡部 驚	担当者名	主任	井上 慶			

1. 事業概要 【Plan】 ※令和2年度の内容

事務事業名（施策コード）	53133	中島リサイクルセンター運営管理事業				事業性質	1-4:自治事務（義務規定あり）	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム			個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-		
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	ごみの適正処理の推進		市長公約			-			
取り組みの柱	処理施設の更新・維持管理					-			
総合戦略		基本目標	-	取組み	-				
		政策	-						
		施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R2)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R2)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例、松山市一般廃棄物処理基本計画								
事業の目的（どのような状態にするか）	松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみの再資源化等を行う施設である、中島リサイクルセンターの運営管理及び施設の維持管理を行う。								
背景（どのような経緯で開始したか）	平成17年の合併により、中島町から移管したことによる。								
対象・事業内容（誰に対して,何をするのか）	≪事業内容≫ ・中島地域の家庭等から発生した「缶・ビン類」「プラ・ペット類」「紙類」等の一般廃棄物を受入れ、選別・圧縮・梱包等により再資源化を図る。 ・中島地域の家庭等から発生した「可燃ごみ」「粗大ごみ」「埋立ごみ」「水銀ごみ」等を一時保管する。								
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例第22条					
始期・終期（年度）	平成	16 ～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量 【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費	R2予算措置時期	当初

		R元年度	R2年度	R3年度
現計予算額（A）（単位:千円）		41,089	16,940	16,079
決算額（B）（単位:千円）		39,856	14,789	
内訳 （単位:千円） ※R元→R2 決算内訳, R3→予算内訳	国支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	4,547	3,224	2,401
	一般財源	35,309	11,565	13,678
主な経費（単位:千円） ※R2→決算,R3→予算			委託料8,189 工事請負費3,482 需用費2,424	委託料9,163 工事請負費3,209 需用費2,852
特記事項（単位:千円） ※繰越,補正,流用,事業統合等				
予算執行残額 （単位:千円）	(A)-(B)	1,233	2,151	

※決算額（内訳含む。）は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R2年度)の事業検証・改善 【Check・Action】

主な取組み内容	・一般廃棄物の適正処理(再資源化) ・適正な施設の運営、維持					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	搬入された資源ごみ等の適正な保管及び搬出処理をすることができた。 適正な施設の運営、維持ができた。		
施策への貢献度（目的の達成度を含む）	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、適正な資源の有効活用（再資源化）及び、施設の運営、維持ができているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠（必需） 2:日常生活に不可欠ではない（選択） 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供（共同型） 2:特定の個人・団体等に提供（個人型） 3:どちらにも該当しない
R2年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	・特になし					
R3年度の目標	・一般廃棄物の適正処理（再資源化） ・適正な施設の運営、維持管理	R3年度の主な取組み内容（予定含む）	・一般廃棄物の適正処理に努め、施設の適正な運営、維持を行う。（紙類、金属類、プラ類の再資源化など）	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R3年度で取り組む改善策	・特になし	